

# e-Passport 連携実証実験について

2005 年 1 月  
内閣官房 IT 担当室

## 1. 背景

- ・ パスポートの IC 化は、旅券の偽変造対策や安全かつ迅速な空港手続きに効果が高く、国際民間航空機関(ICAO)にて、国際標準の策定が進められている。各国もパスポートの IC 化を推進しており、アメリカ、オーストラリア、ニュージーランドなどの主要国が 2005 年の導入を目指している。
- ・ 日本政府も、2005 年度中に、顔画像を記録した IC 旅券の導入を目指して、準備を進めている。また、「e-Japan 戦略 加速化パッケージ」においても、パスポートの IC 化を推進することとしており、これに基づき、昨年 5 月に関係府省連絡会議を設置し、我が国の旅券の IC 化及び安全かつ迅速な空港手続きを総合的に推進する e-Passport プロジェクトを進めている。
- ・ パスポートの IC 化はその発行から利用まで複数の府省・諸外国が関係しており、効果的な導入や普及促進のためには、関係府省・諸外国との連携が極めて重要であることから、今年度に、e-Passport 連携実証実験(以下、実験という。)を行うこととした。

## 2. これまでの取組み

- ・ 関係府省連絡会議の下に、事業推進ワーキンググループ(CIO:東京工業大学 大山永昭教授)、実施指針ワーキンググループ(座長:中央大学大学院 堀部政男教授)を設置、実験実施のための検討を行ってきた。
- ・ その結果、2004 年 8 月に基本計画、2004 年 12 月に詳細計画、実施指針を策定している。基本計画及び詳細計画では、実験を実施するための体制、予定、実験内容等を定めており、また、実施指針では、実験における個人情報の取扱いを規定している。

## 3. e-Passport 連携実証実験の目的

- 1) 空港手続きの運用性検証
- 2) 国内外の IC 旅券と読み取り機(IC カードリーダー)との互換性検証
- 3) IC 旅券の本格導入に向け整備すべき制度・運用上の問題点等の洗い出し
- 4) 実験を通じた国際標準化への貢献

## 4. 実施時期・場所

- ・ 2005 年 1 月:官庁または各開発現場における総合実験
- ・ 2005 年 2～3 月:成田空港における実地実験

- ・ 2005年3月:つくばにおける互換性検証試験

## 5. 実施内容

- 1) 我が国の IC 旅券の運用性に関する実験  
対象: 外交旅券及び公用旅券所持者  
媒体: 外務省発行の実験用 IC 旅券  
内容: 空港内の手続き時に、外務省にて発行した実験用 IC 旅券を読み取り、顔認証を実施  
参加省庁: 法務省、外務省、経済産業省、国土交通省
- 2) 国内外の IC 旅券と IC カードリーダーとの互換性検証に関する実験  
対象: 実験参加国の状況に応じた対象にて実施  
媒体: 各国発行の IC 旅券、外務省発行の実験用 IC 旅券  
内容: 各国発行の IC 旅券に対し、日本の IC カードリーダーにて読み取り検証  
外務省発行の実験用 IC 旅券に対し、各国の IC カードリーダーで読み取り検証  
参加省庁: 内閣官房、外務省、法務省、経済産業省
- 3) 安全かつ迅速な空港手続きに関する実験  
対象: 航空会社を利用する一般旅客のうちの希望者  
媒体: 国土交通省が中心となり発行する実験用 SPT カード  
内容: 空港内の手続き時に、実験用 SPT (Simplifying Passenger Travel) カードを読み取り、生体認証を実施  
参加省庁: 法務省、国土交通省

## 6. 問い合わせ先

内閣官房 情報通信技術(IT)担当室 後藤

Tel : 03-5253-2111 (内線 : 83652) Fax : 03-3581-3966

法務省 入国管理局総務課出入国情報管理室 君塚

Tel : 03-3580-4111 (内線 : 2785) Fax: 03-3592-7368

外務省 領事局旅券課 長嶋

Tel : 03-5501-8167、Fax: 03-5501-8166

経済産業省 商務情報政策局情報政策課 三島、富田

Tel : 03-3501-2964、Fax: 03-3580-6403

国土交通省 総合政策局情報管理部情報企画課 黒須

Tel : 03-5253-8111 (内線 28132) Fax : 03-5253-1564